



ファンドレイジング（資金調達）の基本を学ぶ合宿を1泊2日で開催します

# ファンドレイジング合宿2012春

島根県立青少年の家  
サン・レイクに  
て合宿

「新しい公共」におけるNPOへの期待が高まる中、新寄付税制やNPO法の改正によって、寄付者に対する税制面での優遇措置が拡大されるなど、NPOにとって資金調達しやすい環境が整備されつつあります。

しかし、依然として多くのNPOが活動資金不足を課題にあげているのが実情です。

そこで、ファンドレイジング（資金調達）の基本を学ぶ合宿を1泊2日で開催します。具体的なファンドレイジング戦略やアクションプランを策定し、資金調達力の向上を目指します。定員 40 名で先着順ですので、お早めにお申し込みください。参加費用は 4,020 円です。（チラシをお持ちの方は裏面に申し込み書があります）

FAX:0852-28-0692 E-mail:shimane@teiju.or.jp  
URL: <http://www.teiju.or.jp/local>

- 活動を広げたいけど資金が足りない
- 毎年の会費が減ってきた
- PR不足で会員が増えない
- 寄付を増やしたいけど方法がわからない



1つでも当てはまる方はぜひご参加ください

- 講師：徳永洋子氏  
(日本ファンドレイジング協会)
- 費用：4,020 円  
(施設使用料 1,030 円、夕食 1,000 円、懇親会 1,000 円、朝食 420 円、昼食 570 円) ※県外の方は 510 円追加。
- ※懇親会費用は領収書が発行できません。また、宿泊客室は相部屋となります。ご了承ください。
- 持参物：マイカップ、タオル、着替え、シャンプー、筆記用具、名刺等
- 定員：40名（先着順）
- 申込締切：2月17日（金）

## 【合宿プログラム】

2月25日（土）

13:30～14:00 受付・オリエンテーション

14:00～18:00

### 第1部「はじめよう！ファンドレイジング」

ファンドレイジングは、単なる団体の活動資金集めのテクニックではありません。戦略的な発想で、組織の成長を促すものでなくてはなりません。そのためには、まず、何をすべきなのか・・・そのポイントを学びます。

18:00～19:30 事務連絡・入浴

19:30～21:30 交流会（夕食・活動紹介タイム）

2月26日（日）

9:00～12:00

### 第2部「ファンドレイジング7つのステップ」

ファンドレイジング戦略策定のための7つのステップについて学びます。

12:00～13:00 昼食

13:00～16:00

### 第3部「アクションプランの策定」

これまでの学びを実践につなげるために、ファンドレイジングプランの策定に挑戦します。アクションプランを4つのステップで組み立てていく方法を学びます。



# 助成金&イベント情報



募集情報



イベント情報



助成情報



## メットライフアリコ社員寄付 子ども支援プログラム

～1/31

東日本大震災復興支援プログラム

- 締切日: 1月31日(火)必着
- 助成金額: 総額1,500万円 1件30万～100万円以内
- 助成対象: 日本国内で活動する非営利団体
- 対象活動: 被災した子どもを支援する活動、被災地で子育てに関わる人々の取り組み

問合せ: (公財)日本国際交流センター

JCIE メットライフアリコ 子ども支援プログラム事務局

E-mailに限る: kodomo@jcie.or.jp

URL: <http://www.jcie.or.jp/japan/cn/kodomo/>



## コンサート・講演会等 託児室支援事業

～2/10

- 締切日: 2月10日(金)予定件数に達し次第〆切
- 助成金額: 1コンサート等1日当たり募集要項に定められた当該金額合計と10万を比較して少ない方の額
- 助成対象: 平成23年4月から24年2月末までの期間に実施するコンサートを対象

問合せ: 財団法人こども未来財団 事業振興部

TEL: 03-6402-4823

E-mail: [concert@kodomomiraizaidan.or.jp](mailto:concert@kodomomiraizaidan.or.jp)



## (社)全互協第13回 社会貢献基金助成

～2/29

- 締切日: 2月29日(水)必着
- 助成金額: 総額1,000万円 1件200万円以内
- 助成対象: 要項の条件を満たす財団法人、社団法人、社会福祉法人、NPO法人、その他任意団体、市民ボランティアグループ等。

問合せ: (社)全日本冠婚葬祭互助協会

社会貢献基金運営事務局

TEL: 03-3596-0061 (メールでのお問い合わせ不可)



## 西友/ウォルマート・ジャパン 社会貢献活動助成

～3/15

- 締切日: 3月15日(木)当日消印有効
- 助成金額: 総額2,000万円1件あたり上限1,300万円
- 助成対象: 日本国内に拠点を持つ非営利活動団体で活動実績が3年以上の団体
- 対象活動: 女性の経済的自立支援・食品寄付活動・環境活動・その他地域活性化、防災、教育、福祉、環境保全などの具体的なニーズに対応した活動

問合せ: 西友 企業コミュニケーション部

社会貢献委員会事務局

TEL: 03-3598-7489-7707



## チャレンジドアート 美術展

1/25

- 日時: 1月25日(水) 10:00～15:00
- 会場: 松江市市民活動センター 1F市民交流広場
- 内容: 障害者によるアート作品の展示・販売。

問合せ: NPO法人サポートセンターどりーむ

TEL: 0853-63-4001



## これだけは知っておきたい! インターネット安全教室

1/29

～パソコンや携帯電話で

思わぬトラブルや犯罪にまきこまれないために～

- 日時: 1月29日(日)◎小中学生向け 13:10～14:40  
◎一般向け 15:00～16:40

○会場: 松江市市民活動センター503会議室 定員各12名

○参加費: 無料

問合せ: NPO法人 プロジェクトゆうあい

TEL: 090-4807-8500 送付先 E-mail: [info@pjui.com](mailto:info@pjui.com)



## 真冬の田舎パワー 体感ツアー

2/10  
～12

- 日時: 2月10日(金)～12日(日)
- 旅行代金: 10,000円(集合場所からの交通費含む)
- 集合場所: JR新大阪駅(バスで移動します。

松江駅・出雲空港・現地などでの合流も可)

\*ツアーのスタッフは、近年地域に移住したIターン者たちと地元大学生です。

- 内容: 雪を活用した体験(かまくらづくり、かんじきを履いて雪の上歩き)いなか料理、農家民泊

問合せ: NPO法人さくらおろち

TEL・FAX: 0854-48-0729

E-mail: [sakura-o@bs.kkm.ne.jp](mailto:sakura-o@bs.kkm.ne.jp)

URL: <https://www.shimane-ikiiki.jp/events/show/1829>



## NGO/NPO・企業 環境政策提言 募集

～1/31

- 期間: 平成23年12月13日～平成24年1月31日(火)
- 内容: 環境問題・課題解決に向け、どのような政策を実施すべきか? 他省庁との連携では? 地方自治体では? 民間との協働では? あなたの考える環境政策をご応募ください。

問合せ: 環境パートナーシップオフィス(EPO)

TEL・FAX: 03-3406-5180(担当: 島田・平田)

E-mail: [epo@seisaku-teigen.com](mailto:epo@seisaku-teigen.com)

URL: <http://www.seisaku-teigen.com>



# 島根 で頑張る人

## 住民から離れてしまわない 持続可能な地域づくり

「本当のところ自治会の行事ひとつをとっても、住んでいる人達みんなが喜んでいのかどうか？」長らく役場の職員として多くの住民と接してきて、つねづね思っていた事だった。

まず着手したのが、地区の全住民への無記名アンケートの実施だった。心配していた回収も、思いの外協力が得られた。なかには厳しい意見もあったが「悪口から本音がきける」と考えた。アンケートによりあぶり出された地域の課題を、総務・環境・福祉・産業・文教と分野ごとに整理し、部会ごとのワークショップを開き、対策を話し合った。それを取りまとめ「日登地区地域振興計画」という5年間計画(H20-24 実施)を策定した。



来年度の「ふるりの民謡」に選ばれた「木次盆踊り」

例えば、アンケート結果で多かった宅葬の時の食事提供など葬儀の勤めが負担になっているという声に対しては、個人では変えにくい葬儀のあり方について、自治会とも協議を重ね、高齢化社会にも対応できる標準モデルを提案できた。簡単な事ではなかったが「結果として喜ばれることになった。」

また、産業部では食による地域振興を進め、燻製や漬物・料理・菜種栽培など実践希望者を募って、地域住民全員に参加できる機会を作った。

このような取り組みの中「修正が必要であれば修正し、実現してこそ計画は生きてくる。」と、2年が経過した H22. 3月に、「日登地区地域振興計画」の見直しも行った。

来年度はさらに、現段階での地域の声を聞くため再びアンケートを予定している。計画と実施、それを検証しつつ改善を繰り返していく。まさに、地域の課題解決のお手本のような取り組みだ。

今後は「食の取り組みをさらに進め、安全安心な地域の食材を利用した農産加工に力を入れたい。」と、各団体と緩やかに連携しながら持続可能な地域づくりを推進していく。

“島根で頑張る人”は島根県で活動する人にスポットを当て、考え方や経験から団体活動に迫るコーナーです。スタッフの「学び」も兼ねて取材させていただいています。



地域自主組織 日登の郷  
会長 本田 宏さん

島根県出身。1944 年生まれ。生まれも育ちも木次の日登地区。本田さんは自らもそうだったように「子どもは地域で一緒に思い出を持って育つことが大切」という。将来を見据えた地域の振興のため、自治会に様々な団体を加えた地域自主組織を作り、常に住民から離れない住みよい地域づくりを目指している。

### 地域自主組織 日登の郷 今までの主な活動

- 平成 18 年 7 月 結成  
9-10 月 アンケート実施
- 平成 19 年 1 月 報告書作成
- 平成 20 年 3 月 「日登地区地域振興計画」作成  
(4 月～5 力年実施)
- 平成 22 年 4 月 計画見直し
- ホームページ上に、アンケート結果・地域振興計画ともに詳細に公開。  
<http://www.plusvalue.co.jp/hinobori/>

## 図書紹介

図書コーナーの中から活動に役立つ書籍を紹介しています。松江事務局・浜田事務所で貸出しも行っています。ご興味のある方は是非お越し下さい。また「置いてあったらいいな」という本がありましたらスタッフまでお知らせください。

### 「田舎力 ヒト・夢・カネが集まる 5つの法則」 金丸弘美著

地域おこしの成否は、どこで決まるのか。全国 800 の農山漁村をまわってきた著者が「発見力」「ものづくり力」「ブランドデザイン力」「食文化力」「環境力」点から、ふるさとに生きがいと誇りを取り戻すヒントをたくさん紹介！



### 「非営利組織の成果重視マネジメント」 P.F.ドラッカー著

10 年前米国で開発された自己評価手法だが、これを日本の非営利組織の実践例を交え紹介。非営利組織に求められるようになるであろう評価の、到達基準を独自に持つことの必要性と方法が学べる。



# 『改正NPO法と新寄付税制』セミナーのお知らせ 新制度をしっかりと活用するために！

2011年6月にNPO法とNPO法人に対する寄付税制の改正法案が可決されました。

もうすでに新寄付税制はスタートし、認定NPO法人になるための新ルール「3,000円×10人」が決まりました。税制上の優遇措置も拡大されています。

また、2012年4月からは改正NPO法が施行され、活動分野が追加されたり、会計書類が「活動計算書」に変わったり、定款変更に関する制度が変わったり・・・と、大幅にリニューアルされます。

そこで、NPO法や寄付税制がどう変わったのかを正しく理解し、今後の活動にしっかりと活かすためのセミナーを開催します。

【松江】平成24年 2月19日(日)

くにびきメッセ501大会議室

【浜田】平成24年 2月20日(月)

浜田合同庁舎大会議室

【出雲】平成24年 2月21日(火)

出雲合同庁舎702会議室

参加費：無料

定員：各会場40名

締切：2/13(月)

午後の部 講師：認定NPO法人市民活動センター神戸

理事・事務局長 実吉 威氏

NPOのコンサルティングと情報発信、ネットワークづくり、調査研究と政策提言、NPO共同オフィスの運営など市民活動のサポーターとして活躍中。実体験にもとづいた講座が評判を得ている



## 午前の部『4月からこう変わる！新制度説明会』

(あらし編) 10:30～12:00

2012年4月に施行されるNPO法改正のポイントや認定NPO法人への寄付税制のしくみをわかりやすく説明します。

●対象：興味のある方ならどなたでも

## 午後の部『認定NPO法人チャレンジセミナー』

(認定NPO編) 13:00～16:00

「3,000円×100人」の寄付という新基準や「仮認定」の導入で認定がぐ～んと取りやすくなり、最大で寄付金額の50%が寄付者に還付される「税額控除制度」が導入されたことで、認定NPO法人が寄付を集めやすくなりました。

これまで認定は敷居が高いと思っていた方、目指すかどうかわからない方へ、講座とワークを通じて「どこから始めて、何をどうしたらいいのかわかる具体的なヒントを得られるセミナーを開催します。

●対象：認定NPO法人取得に関心のある団体  
または個人の方

●持参物：直近の2事業年度分の決算書、電卓

## 掲載情報募集

地域づくり団体・NPO法人の皆さんからの掲載情報を募集しています。イベント告知・スタッフ募集など何でも構いません。毎月20日発行ですので10日ごろまでにタイトルを『しまねいきいきねっと掲載依頼』として、e-mail、fax、郵送などでご連絡ください。

紙面の都合上機関紙に掲載できない場合でも、下記サイトへの掲載が可能です。下記のサイトもご参照ください。

島根いきいき広場には、ID パスワードお持ちの団体の方は、ご自身でイベントを登録いただけます。



⇒しまね地域ポータルサイト  
「だんだん」  
<http://shimane.canpan.info/>



⇒県民活動応援サイト  
「島根いきいき広場」  
<https://www.shimane-ikiiki.jp/>

## 制作スタッフ日記

2012年の幕が開けました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。それにしても、去年は1年があったという間に過ぎて行った感がありました。1年が短く感じるのは、子どもと大人では記憶の処理方法が異なるため



内田 麻紀

という説や、大人になると慣れてしまい、心待ちにするイベントが減るため短く感じるという説などがあるそうです。1年は長く感じた方がいいのか、短く感じた方がいいのか・・・短く感じるのはたくさんやるのがあって、充実していたとも言えるかもしれません。今年も充実した1年を送れたらいいなと思います。

今、心待ちにしているイベントは・・・1/26くにびきメッセで行われる“新しい公共を創造する連携フォーラム”！皆さんに直接お会いできるのが楽しみです！切近です。お申し込みはお早めに。